

資料2-2

令和7年度の事業進捗状況及び令和8年度の予算要求に向けて

基本目標II 感動と活力に満ちた競技スポーツの推進

推進項目

- (1) トップアスリートの育成・強化の推進
- (2) 競技スポーツに対する推進体制の充実
- (3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出

事業の進捗状況

- ・4月に山形県縦断駅伝競走大会が開催され、酒田飽海チームは1日目2位、2日目1位と順位を上げ、1・2日総合で1位となったが、最終結果は総合2位の順位となった。
- ・第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は9月28日に開幕し、各種競技が実施された。大会に出場する本市在住等の選手達24名に激励金を贈呈した（全国障害者スポーツ大会の出場者3名含む。）。
- ・スポーツ振興激励金の交付状況については、9月末時点で国際大会出場者（デフリンピック：3名）、全国・東北大会出場者（139名）に計1,264千円の激励金を交付している。
- ・SVリーグに参戦しているアランマーレ山形の開幕戦が、10月11日にINPEX酒田アリーナを会場に開催された。10月26日を終えて開幕戦から勝ち星がなく、厳しい戦いを強いられているが、チームの支援として、引き続き試合情報や大会結果等の情報発信を行っていく。
- ・9月場所（両国国技館）、十両復帰を目指して挑んだ北の若闘（八角部屋）は、5勝2敗という結果で勝ち越しを決めた。11月場所（福岡県福岡市）が11月9日から始まるが、番付は十両東12枚目。スポーツ振興課では後援会の事務局を担っており、毎場所前に会員へ向けた会報の作成・送付や激励会の開催（11月25日予定）等の業務を行っている。また、年間を通じて毎場所の星取表を市役所1階ロビーに掲示している。

現状評価

- ・「トップアスリートの育成・強化の推進」として、選手のモチベーションを高めるために激励金等の交付、市スポーツ協会への支援を継続していくことが有効と考えられる。
- ・市スポーツ協会と連携して、プロスポーツチームの試合や、各競技大会の全国大会・東北大会の誘致に取り組むことは、市民の「みる」スポーツへの興味・関心を高めることにつながるものと考える。

令和8年度の予算要求に向けて

- ・市スポーツ協会と連携し、小中高生から一般までの一貫した指導体制の確立や指導者の資質向上、市民のスポーツへの関心を高め、医科学的な視点も踏まえながら、指導者のレベルアップを図る。指導者講習会については全体の競技で共有することができる内容を検討し、選手育成・強化並びに競技力向上につなげていく。
- ・選手たちのモチベーションを高めるためにも、継続して全国大会等上位大会へ出場する選

手へ激励金等を交付する。

- ・市スポーツ協会と連携して、トップレベルのスポーツに触れる機会を多く創出し、スポーツへの興味と関心を高める。
- ・アランマーレ山形の試合について、後援会と連携しながらパブリックビューイングの実施を検討していく。

数値目標

KPI		指標値（R7）	現状値	現状値（R6）
		31,158人 (R11 38,000人)	H28 36,180人	36,038人

関連事業（令和7年度）

No.	事業名	活動・手段指標	目標等	予算額
1	トップアスリート育成支援事業	国民スポーツ大会への出場種目数	20種目	14,006千円

（事業概要）

○激励金の交付

地区予選会を勝ち進み、東北大会以上の大会へ出場する小中学生の選手や、国スポ・全国大会等に出場する選手や団体に対して激励金を交付する。

○酒田市スポーツ協会事業補助金

（主な事業）

- ・選手強化事業（加盟競技団体へ強化費の交付）
- ・指導者養成事業（競技スポーツ指導者養成研修）
- ・市民スポーツ振興事業（スポーツ教室、総合型地域スポーツクラブ）
- ・広報誌発行（年2回 各回4,300部）
- ・顕彰事業（功労指導者、優秀選手等の表彰）

○各種競技大会

- ・山形県縦断駅伝競走大会
- ・山形県女子駅伝競走大会
- ・酒田市武道団体協議会演武大会

○スポーツ指導者養成研修（委託先／市スポーツ協会）

小中高生から一般までの一貫した指導体制の確立と指導者の資質向上を目指し、講演会等を開催することにより、指導者のレベルアップを図る。